

目次：

塩見理化学研究所	1	受贈刊行物	5
大阪高等学校・浪速高等学校の博物館・ アーカイブズ所蔵資料を活用した展覧会	2	業務日誌（抄）	11
旧制浪速高等学校奉安庫に関する公文書（2）	4	人の動き	12



塩見理化学研究所

今を去ること100年前、1916（大正5）年に財団法人塩見理化学研究所が設立されました。塩見政次がその死の直前に、母校大阪医科大学に私財100万円を寄附し、理化学研究所の設立を委託したのでした。理学科および化学科からなるこの研究所は、大阪帝国大学理学部創設の母体ともなりました。写真の建物は、1926年に附属病院敷地の北東隅（現在の大阪市福島区福島）に完成しました。理学部助教授として赴任した湯川秀樹も、一時塩見理化学研究所の一室を使用していました。（菅 真城）

大阪高等学校・浪速高等学校の博物館・ アーカイブズ所蔵資料を活用した展覧会

大阪大学総合学術博物館 准教授 宮久保圭祐

大阪大学総合学術博物館は大阪大学アーカイブズとの共催で「嗚呼黎明は近づけり…友よ我らぞ光よとーよみがえる旧制高校 大高・浪高の記憶と記録」と題する展覧会を2016年の4月27日から7月9日にかけて開催し、期間中に4900名の方に来館していただきました。大阪高等学校（大高）と浪速高等学校（浪高）を当館の展覧会で紹介するのは今回が初めてです。

展覧会のタイトルは大高の全寮歌の冒頭と、浪高の愛唱歌「浪速の友に」の最後のフレーズを組み合わせたもので、会場ではこの二つの歌を交互に流して会場の雰囲気を取り上げました。

この展覧会の重要な目的としては、博

物館の所蔵資料の有効活用があげられます。所蔵資料はその博物館の特色を示すものであり、普段展示することのできない所蔵資料をまとめて展示することは博物館活動の中でも重要な課題の一つです。当館が所蔵する旧制高校ゆかりの資料には、大別して三種類のものがあります。一つは大阪大学教養部に引き継がれ、利用・保管されてきた教材や博物資料です。主なものとしては、剥製や骨格標本、液浸資料などの生物標本や鉱物資料、考古資料、社会風俗資料の模型などです。

残り二つは、旧制高校の同窓会によって収集された資料をお預かりしたものです。「大高文庫」は旧制大阪高等学校同窓会が、卒業生や当時の教員の著作を網羅的に集めることを目指して収集したものです。卒業生の各方面での活躍ぶりを考えると、大阪文化の資料であるといえます。浪速高等学校同窓会が収集した資料は、母校の全容を後世に残すことを意図して、様々な資料を同窓生や

教員から集めたものです。散逸しがちな当時の資料が多く残されていて、当時の旧制高校の教育に関する貴重な資料となっています。

この展覧会を担当した筆者は博物館の准教授ですが、もともとの専門は物理化学です。当初は旧制高校の理系の標本資料を活用した展覧会を検討していましたが、学術的な標本というよりも教材、教育史の資料として扱うべき資料を用いて展覧会を構成することに苦慮していました。あらためて教育という視点で所蔵資料を見直した時に、浪高同窓会の資料中の当時の教科書や自筆ノートなどは大学教員として非常に興味深いものでした。そこで実体資料としての教材の展示にこだわるより、当時の教育内容そのものを展示することができれば、そのほうが面白いと考えました。その考えに至るもう一つのきっかけは、現在も大阪大学で進められているカリキュラム改革で、全学教育推進機構の教養教育の具体的なカリキュラムを検討するWorking Groupに参加したことです。そこで教養教育のあり方やカリキュラムの変遷について強く意識するようになり、過去の教育を展示として公開することは、大学博物館の展示テーマとして重要なことではないかと考えたわけです。

しかし大高・浪高の展覧会を一般向けの展示として成立させるのには多くの課題がありました。博物館の展示では、この展示物を一目でも見る価値があるというものがないと、人が集まらないと言われます。書籍や文書、ノートのような中身をよく見ないと内容のわからない紙資料では、興味が薄い方に足を運んでもらうのが難しいのです。これについては、大高・浪高が大阪大学の教養教育の源流である意義、浪高の校地であった豊中キャンパスで展覧会を開催することの意義を説明し展覧会の開催を認めていただきました。

また私が教育制度や教育史の研究者ではなく、展示内容と自身の研究が結びついていないことも展示の質を確保する上での不安要素でした。これに対して、大阪大学の教養科目「大阪大学の歴史」で大高・浪高についての講義をされている大阪大学アーカイブズの菅教授にご協力いただくとともに、アーカイブズとの共催として展示資料でのご協力もいただけることになりました。これに力を得て展示準備を進めました。



まず一つの方針として大高・浪高の両校をできるだけ同じように扱うこととしました。ただし両校の同窓会の資料の収集方針が異なっていたため、実際の展示では非常に苦勞することとなりました。さらにこの展覧会では、最も重要な観客として、現在大学で教養教育を受けている大学生を想定しました。そこで当事者以外の目線で見られる旧制高校を見るということ、もう一つの方針としました。しかし後者の方針に関しては、旧制高校を正に紹介した展示になっているかということが問われることになります。そこで、ある程度の内容が固まった時点で、大高・浪高の卒業生の方に連絡を取り、展示についての意見を伺い、取材もさせていただくことにしました。大高・浪高の同窓会はすでに公式の活動を停止していたのですが、幸い浪高の同窓会の事務所が残っていて、そこからの連絡で多くの浪高卒業生の方からお話を伺い、資料も提供していただきました。さらに、大高の卒業生の方とも、浪高卒業生の方や元館長の江口先生の紹介で連絡を取ることができました。



展覧会では、はじめに「旧制高校をしっていますか？」と題して、旧制高等学校の制度と、大高・浪高を短く紹介して展示の導入としました。入口すぐに浪高の制服の実物をマネキンに着せて目を引くようにしたのですが、最近のマネキンとサイズが合わせられず、古い制服の痛みも目立ってしまいました。旧制高校生の身なりはよく「弊衣破帽」と称されますが、図らずもそれを実践するものになり、浪高のOBの方からはもう少し見栄えがよくなるのかとの注文もつき、申し訳ない限りです。

次に「大阪高等学校・浪速高等学校の設立」として、大阪高等学校・浪速高等学校の設立や当時の様子を解説パネルで紹介し、当時の資料や、同窓会で校史をまとめた書籍を展示しました。さらにアーカイブズに整理保管されていた写真をパネ

ルにして掲示し、当時の雰囲気を見てもらえるようにしました。両校はほぼ同時期に設立されたにもかかわらず、大高は官立で3年制の典型的なネームスクールであったのに対し、浪高は大阪府立で7年制という対照的な性格を持っていたので、二校を同時に取り上げて旧制高校の制度をより深く紹介できたのは今回の展示の特色の一つです。

「大高・浪高での教育と学生生活」の展示は最も苦心し、見ていただきたかったところで、浪高資料を中心に当時の教科書や、貴重な自筆のノート、入試問題などの教育内容を示す資料や旧制高校生の文化活動である同人誌や寮歌集などを展示しました。



「大高・浪高出身者の活躍」とした展示では、著作物を卒業年代順にまとめて並べることにより、各方面で活躍した卒業生が同時期に学んでいたことを示すようにしました。阪大総長経験者をはじめとする代表的な卒業生の方についてはミニパネルを作って紹介しました。

最後の「旧制高校の終焉と大阪大学一般教養部の設立」では旧制高校が廃止され、大高・浪高が大阪大学に包括される過程を紹介しました。ここでは、アーカイブズに保管されていた当時の教養部準備に関する公文書で充実した展示とすることができました。

会場には大高・浪高のOBの方や、そのご家族に多く来場していただき、展示内容について懐かしむと同時に、会場で当時のことなどもお話しいただき私も多くのことを学ばせていただきました。展覧会は終了しましたが、展示した所蔵資料をさまざまな研究などに活用していただくことはこれからの課題といえます。

最後になりますが、取材や資料提供にご協力いただいた大阪高等学校、浪速高等学校の卒業生とご家族の皆様、天理大学、旧制高等学校記念館の関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

旧制浪速高等学校奉安庫に関する公文書(2)

大阪大学アーカイブズ 教授 菅 真城

1. はじめに

本誌前号に掲載したように、旧制浪速高等学校（以下、「浪高」と略記）の「奉安庫」「御真影」「教育勅語」に関する大阪府公文書には、以下の3冊の簿冊がある。①『御真影奉載一件 大正15年～昭和4年』（請求記号B2-0059-1）、②『御真影奉護照会一件 昭和9年』（請求記号B2-0059-53）、③『御真影奉護照会一件書綴 昭和10～11年』（請求記号B2-0059-54）。①には、「御真影及勅語謄本御下賜方申請ノ件」（登録番号0000108821、【資料1】【資料2】）と「御真影奉安室設備完成報告ノ件」（登録番号0000108521、【資料3】）の3件の文書が、②には、「御真影奉護照会ノ件」（登録番号0000114619、【資料4】）が、③には、「御真影奉護ニ関スル件」（登録番号0000115300、【資料5】）が綴じられている。このうち【資料1、2、3】については前号で紹介した。本稿では【資料4、5】について紹介する。

2. 【資料4】【資料5】の翻刻

【資料4】

浪速高等学校長 三浦菊太郎	
拝載御真影御異常ノ有無	御異常ナシ
奉安庫異常ノ有無	御異常ナシ
奉遷ノ状況	奉安庫御異常ナキタメ奉安庫ニ安置シ奉遷ノ事ナシ
現在ノ奉護状況	奉安庫ニ奉護ス
其他ノ参考事項	ナシ

【資料5】

浪高 発第八六号

昭和十年五月二十九日

浪速高等学校長 三浦菊太郎〔印〕

大阪府総務部長 中井光次殿

御真影奉護ニ関スル件

五月二十日付秘第四二七号ヲ以テ御照会相成候

御真影奉護ニ関スル件別紙ノ通り及回報候也

御真影奉護ニ関スル調査 浪速高等学校

一、拝載御真影

拝載御真影 下賜ノ伝達ヲ受ケタル年月日

今上陛下 昭和六年一月二十四日

皇后陛下 昭和六年一月二十四日

二、奉安施設

イ、奉安所位置 浪速高等学校校長室

ロ、奉安所ノ構造 鉄筋コンクリート造

鉄製開扉戸付

ハ、奉安殿又ハ奉安金庫ニ菊御紋章描出有無

菊御紋章 無

(ママ)

三、非常変災時ニ於ケル奉遷所及 巨 離

第一奉遷所 浪速高等学校尋常科主事室

(約二〇〇米)

第二奉遷所 大阪府立豊中中学校校長室

(約三〇〇〇米)

四、既往ニ於テ奉遷ノ有無

奉遷シタルコトナシ

以上

3. おわりに

【資料4】【資料5】はともに御真影「奉護」に関するものである。特に【資料5】には、菊紋章が無いなど、浪高奉安庫に関する豊富な情報を含んでいる。

さて、本誌前号で述べたように、浪高奉安庫は戦後壁の中に塗り込められていたのであるが、これはいつどのような事情によるものであろうか。残念ながら、これらの疑問を解明する資料は見いだせていない。「旧制高校や帝国大学は行政や軍とかかわって、戦争を積極的に支える役割を担っていたため、GHQの捜索を受けまいと過剰反応して隠したのではないか」（『朝日新聞 夕刊』2010年9月21日、長志珠絵）、「部屋の壁に塗り込められていた奉安庫の上にさらに壁を作り、GHQの目から隠そうとしたからと推測される。」（飯塚一幸「大阪大学に残る戦争遺跡」木戸衛一編『平和研究入門』大阪大学出版会、2014年）という見解もあるが、GHQから隠そうとしたということには、筆者は疑問を持っている。詳しくは、別の機会に論じられればと思う。

受贈刊行物 (2016年3月～2016年8月)

愛知大学東亜同文書院大学記念センター

東亜同文書院記念基金会ニュース 第16号、同文書院記念報 vol.24

追手門学院大学

OTEMON ECONOMIC STUDIES vol.48、追手門学院大学国際教養学部紀要 第9号、追手門学院大学五十年志、追手門学院大学心理学部紀要 第10号、追手門経営論集 第21巻第2号、追手門経済・経営研究 第23号、追手門経済論集 第50巻第2号

大阪女学院教育研究センター

大阪女学院教育研究センターNewsletter 第10号

大阪市立大学大学史資料室

大学史資料室ニュース 第20号、恒藤記念室叢書6 恒藤恭「戦中日記」(1941～1945年)

学習院アーカイブズ

学習院アーカイブズニュースレター 第8号、山梨勝之進 安部能成 戦後学習院の出発(展示会図録・チラシ)

学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブズ学専攻

GCAS Report 第5号、記録を守り記憶を伝える(リーフレット)、平成28年度入試説明会(チラシ)

神奈川大学資料編纂室

神奈川大学会議録(十七) 神奈川大学史資料集 第三十二集、神奈川大学史紀要 創刊号

金沢大学資料館

金沢大学資料館紀要 第11号、金沢大学資料館だより Vol.49・50

関西大学年史編纂室

平成28年度関西大学年史資料展示室企画展 関西大学の創立者たち(パンフレット・ポスター・チラシ)

関西学院大学学院史編纂室

関西学院創立125周年記念事業報告書、関西学院史紀要 第二十二号

関東学院学院史資料室

関東学院学院史資料室ニュース・レター No.19

九州大学大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻 年報2015/2016

九州大学大学文書館

九州大学大学史料叢書 第22輯、九州大学大学文書館ニュース 第39号

京都産業大学広報部

京都産業大学キャンパスマガジンサギタリウス vol.71・72

京都大学大学文書館

京都大学大学文書館研究紀要 第14号、京都大学大学文書館だより 第30号

近畿大学建学史料室

世耕弘一先生建学史料室広報 21号

慶應義塾福沢研究センター

近代日本研究 第32巻、慶應義塾150年史資料集本編 第2巻「教職員・教育体制資料集成」、慶應義塾福沢研究センター所蔵 福沢諭吉慶應義塾史 新収資料展(チラシ)、慶應義塾福沢研究センター通信 第24号

皇學館大学研究開発推進センター

皇學館大学研究開発推進センター紀要 第2号

神戸国際大学

経済文化研究所年報 第25号、神戸国際大学紀要 第90号、神戸国際大学経済経営論集 第36巻第1号

神戸女学院史料室

学院史料 Vol.29、學報 NO.176・177

國學院大學研究開発推進機構

校史 Vol.26、國學院大學 校史・学術資産研究 第八号

国士舘史資料室

国士舘史研究年報楓原 第7号

駒澤大学禅文化歴史博物館

駒澤大学所蔵考古資料展(ポスター・チラシ)

女子美術大学歴史資料室

女子美術大学歴史資料室ニュースレター 第9号、平成28年度収蔵資料展 収蔵資料にみる女子美の歩み(チラシ)

成城学園教育研究所

成城学園教育研究所研究年報 第三十七集(CD-R)、
成城教育 第171・172号

専修大学大学史資料課

相場永胤家文書の基礎的研究－私立学校創立者の多
面的分析のためのアプローチ、専修大学史紀要 第8
号、専修大学史資料集 第七巻 専修大学と学徒出陣

大東文化歴史資料館

大東文化歴史資料館だより 第20号

拓殖大学創立百年史編纂室

拓殖大学百年史 通史編一(明治大正期)

玉川大学教育博物館

玉川大学教育博物館紀要 第13号

多摩美術大学

多摩美術研究 第5号、多摩美術大学研究紀要 第29・30号

中央大学広報室大学史資料課

戦争と中央大学プロジェクト 戦後70年記念シンポジ
ウム「戦争と中央大学」、中央大学史紀要 第20号

帝京大学総合博物館

帝京大学創立50周年企画展示 50年前の帝京大学
(展示解説用パンフレット・チラシ)

東海大学学園史資料センター

キャンパスの記憶－湘南キャンパスの歴史－(パンフ
レット・チラシ)、東海大学資料叢書4・5

東京学芸大学教育研究支援部大学史資料室事務室

東京学芸大学大学史資料室報 vol.3

東京経済大学史料委員会

努力 大倉喜八郎述

東京大学文書館

東京大学史紀要 第34号、東京大学文書館ニュース 第56号

同志社大学同志社社史資料センター

センター報 第12号、同志社談叢 第36号、新島研究 第107号

東北学院東北学院史資料センター

東北学院史資料センター年報 創刊号

東北大学史料館

東北大学史料館紀要 第11号、東北大学史料館だより No.24

東洋英和女学院

史料室だより No.86、楓園 No.80

東洋大学井上円了研究センター

井上円了センター年報 Vol.24

富山大学アーカイブズ設置検討準備室

第4回富山大学展図録、富山大学アーカイブズ・ニュー
ズレター 第3号、富山大学統合10周年記念誌

長崎大学

広報誌CHOHO Vol.55・56

名古屋大学大学文書資料室

名古屋大学大学文書資料室紀要 第24号、名古屋大
学大学文書資料室ニュース 第33号

南山アーカイブズ

南山アーカイブズニュース 第8号、南山学園史料集
11、アルケイアー記録・情報・歴史ー 第10号

日本女子大学成瀬記念館

成瀬記念館 2016 No.31

日本大学広報部大学史編纂課

賛誌 第11号、日本大学大学史編纂課だより 第10号

一橋大学創立150年史準備室

一橋大学創立150年史準備室ニューズレター 第2号

広島大学高等教育研究開発センター

HIGHER EDUCATION FORUM Volume13, March
2016、高等教育研究叢書 131～133、戦略的研究プロ
ジェクトシリーズX 大学の機能別分化とその国際的動
向、大学論集 第48集(2015年度)、広島大学高等教育
研究開発センター コリège 49号

広島大学文書館

企画展 原爆白書運動と広島大学、広島大学文書館紀
要 第18号、広島大学文書館研究叢書2 個人文書の
収集・整理・公開に関する諸課題 第1回広島大学文書
館研究集会記録集、広島大学文書館蔵 大牟田稔関
係文書目録 書籍・雑誌編、広島大学文書館蔵 金井
利博・佐久間澄関係文書目録

法政大学大原社会問題研究所

環境アーカイブズニュースレター 創刊号

法政大学史委員会 法政大学史センター

法政大学史資料集 第37集、法政大学野球部創部100周年記念展示会 法政野球100年解説集

北海道大学大学文書館

北海道大学大学文書館年報 第11号

明治学院歴史資料館

明治学院歴史資料館資料集 第10集②、明治学院歴史資料館ニュースレター No.7

明治大学史資料センター

大学史紀要 第21号 特集阿久悠・布施辰治、大学史資料センター報告 第37集 大学史活動

桃山学院史料室

桃山学院大学社会学部開設50周年記念企画展 社会学部50年の軌跡(チラシ)、桃山学院年史紀要 第35号、桃山学院の歴史 2016

立教学院史資料センター

立教学院史研究 第13号

立教学院展示館

立教学院展示館 第2回企画展 世界に羽ばたくスポーツ文化 立教の挑戦(ポスター・チラシ)、立教ディスプレイ 立教学院展示館年報 Vol.1

立正大学史料編纂室

紀要 創刊号、立正大学史料編纂室のご案内(リーフレット)

あおぞら財団

資料館だより No.56

旧制高等学校記念館

記念館だより 第68・69号

野間教育研究所

学校沿革史の研究 大学編2 大学類型別比較分析 野間教育研究所紀要 第58集

国文学研究資料館

国文研ニュース No.43・44、史料目録第102・103集、平成28年度 国文学研究資料館 古典の日(チラシ)

国文学研究資料館古典籍共同研究事業センター

古典籍共同研究事業センターニュース ふみ 第6号、日本古典籍への挑戦一知の創造に向けてー(チラシ)

全国大学史資料協議会東日本部会

大学アーカイブズ No.54

全国大学史資料協議会西日本部会

全国大学史資料協議会西日本部会会報 第32号

帝国データバンク史料館

帝国データバンク史料館だよりMuse 27、別冊Muse 2014・2015

人と防災未来センター資料室

資料室ニュース vol.59、人と防災未来センター資料室 震災資料集vol.2 所蔵資料図録ー暮らしのなかの震災資料ー

わだつみのこえ記念館

わだつみのこえ記念館 記念館だより No.10

秋田県公文書館

秋田県公文書館研究紀要 第22号、秋田県公文書館だより 第31号、広報誌「古文書倶楽部」第70号

天草市立天草アーカイブズ

平成27年度 天草市立天草アーカイブズ年報 第13号

大阪府公文書館

大阪あーかいぶず 第48号

岡山県立記録資料館

岡山県記録資料叢書11 岡山県明治前期資料二(十一・十二年)、岡山県立記録資料館紀要 第11号、岡山のアーカイブズ 5 ～記録資料館活動成果資料集～

沖縄県公文書館

沖縄県公文書館 20年のあゆみ、沖縄県公文書館研究紀要 第18号、沖縄県公文書館だより ARCHIVES 第50号

小布施町文書館

小布施町文書館だより Vol.3

外務省外交史料館

外交史料館報 第29号

香川県立文書館

香川県立文書館 収蔵文書目録第18集 讃岐国三野郡財田中村大矢家文書目録(1)、香川県立文書館紀要 第20号、学校アーカイブズ 大川東・善通寺西・多度津

水産高校の記録資料(チラシ)

神奈川県立公文書館

神奈川県立公文書館だより 第34号、平成27年度 神奈川県立公文書館年報

京都府立総合資料館

資料館紀要 第44号、総合資料館だより No.187・188

宮内庁書陵部

昭和天皇実録 第五～七、書陵部紀要第67号・〔陵墓編〕

国立公文書館

ICAソウル大会記念シンポジウム「アーカイブズの未来を考える」(チラシ)、国立公文書館ご利用ガイド(リーフレット)、国立公文書館ニュース vol.5・6、国立公文書館報北の丸 第48号、平成27年度アーカイブズ研修Ⅲ修了研究論文集、平成28年春の特別展「徳川家康ー将軍家蔵書からみるその生涯」(ポスター・チラシ)

埼玉県立文書館

埼玉県史料叢書 17 埼玉県布達集 二、埼玉県立文書館収蔵文書目録 第55集 飯塚家文書目録、文書館紀要 第29号

相模原市立公文書館

公文書館年報(平成27年度の運用状況報告)

札幌市総務局行政部公文書館

札幌市公文書館年報平成27年度(2015年度) 第3号・別冊 研究論考編

寒川文書館

寒川文書館だより Vol.19、寒川町史研究 第28号

太宰府市公文書館

太宰府市公文書館紀要一年報太宰府学ー 第10号、太宰府市公文書館報 平成27年度

東京都公文書館

東京都公文書館だより 第28号

栃木県立文書館

栃木県史料所在目録 第45集(CD-R)、栃木県立文書館研究紀要 第20号、文書館だより 第58号

長野県信濃美術館

長野県信濃美術館 東山魁夷館 展覧会のご案内 2016.4ー2017.3(リーフレット)、平木コレクション生誕二二〇

年 歌川広重の世界 東海道五十三次と江戸の四季(チラシ)、夏季企画展 夢をのせた信州の鉄道ー失われた鉄道の軌跡ー(ポスター・チラシ・招待券)、長野県の遺跡発掘 2016・伊那巡回展 関連イベントのお知らせ(チラシ)

長野県立歴史館

長野県立歴史館研究紀要 第22号、長野県立歴史館収蔵文書目録 15、長野県立歴史館だより vol.87

長野市公文書館

市誌研究ながの 第23号

新潟県立文書館

新潟県立文書館年報 第24号

新潟市文化スポーツ部歴史文化課

新潟市のあゆみ、新潟市歴史資料だより 第22号

八王子市市史編さん室

新八王子市史 通史編5 近現代(上)、新八王子市史 民俗調査報告書第5集 八王子市中央地域 旧八王子町の民俗、八王子市史叢書3 宗門人別帳集成

広島県立文書館

広島県立文書館紀要 第13号、広島県立文書館資料集9 村上家乗 安政五年・六年、広島県立文書館だより No.40

福井県文書館

福井県文書館研究紀要 第13号、福井県文書館資料叢書12 福井藩士履歴4 た〜ね

福岡共同公文書館

福岡共同公文書館 平成28年度第1回企画展 戦争と人々の暮らしー残された公文書と戦時資料ー(ポスター・チラシ)

福岡市総合図書館

福岡総合図書館研究紀要 第16号、平成27年度 古文書資料目録 21

福島県歴史資料館

福島県歴史資料館収蔵資料目録 第47集、福島県史料情報 第44・45号

藤沢市文書館

藤沢市史料集三十九・四十、藤沢市文書館紀要 第三十四号、歴史をひもとく藤沢の資料 1御所見地区

北海道立文書館

北海道立文書館年報 No.51

松本市文書館

松本市史研究 松本市文書館紀要 第26号

三豊市文書館

三豊市文書館だより 七宝 Vol.15～17

山口県文書館

平成28年度 公文書館機能普及セミナーin山口 現在、求められる公文書管理と公文書館 ～備えるべき機能と役割～(チラシ)、文書館ニュース No.50、山口県文書館研究紀要 第43号

和歌山県立文書館

古文書徹底解釈紀州の歴史 第三集、和歌山県立文書館紀要 第18号、和歌山県立文書館だより 第45・46号

大阪大学総務部

いちよう祭 2016 (パンフレット・ポスター)

大阪大学企画部

大阪大学ニュースレター No.71・72、阪大NOW No.148・149

大阪大学教育・学生支援部

平成29年度 大阪大学入学者選抜要項

大阪大学不正使用防止計画推進室

公的研究費使用ハンドブック 正しく理解し、正しく使うためにー

大阪大学未来戦略機構

H27年度 大阪大学博士課程教育リーディングプログラム、Strategy Book(リーフレット)、大阪大学の博士課程教育リーディングプログラム、大阪大学未来共生イノベーター博士課程プログラムニュースレター Vol.1～6、大阪大学未来戦略(2012～2015) 22世紀に輝く(パンフレット)、大阪大学未来戦略機構第五部門 文部科学省博士課程教育リーディングプログラム 未来共生イノベーター博士課程プログラム 平成24・25・26年度年次報告書/第1回外部評価委員会報告書、博士課程教育リーディングプログラムフォーラム2013/学生フォーラムネクストビジョン/報告、平成24・25年度博士課程教育リーディングプログラム

大阪大学全学教育推進機構

「平成28年度全学共通教育科目 履修の手引き」別冊 入学当初の履修の流れについて、Transdisciplinary learning Guide 2016(英文パンフレット)、学部高学年生と大学院生のための学際融合教育ガイド2016(パンフレット)、平成28年度 大阪大学 知のジムナスティックス(高度教養プログラム)ー3年次以上の学部学生及び大

学院学生対象ー、平成28年度 大阪大学大学院副専攻プログラム大学院等高度副プログラム、平成28年度授業時間表1・2年次(第Ⅰ・Ⅲセメスター)用、平成28年度 全学共通教育科目履修の手引 2016

大阪大学教育学習支援センター

2016年度大阪大学ファカルティ・ディベロップメントプログラムガイド 4月～9月、2016年度高度副プログラム 未来の大学教員養成プログラム 大学教員になりたいあなたへ(ポスター・チラシ)、講義自動収録配信システムEcho(リーフレット)

大阪大学21世紀懐徳堂

大阪大学における社会貢献・アウトリーチ活動の現状と課題ー大学と社会のよりよいつながりを目指してー

大阪大学適塾記念センター

適塾記念会 入会へのお願い(チラシ)

大阪大学安全衛生管理部

だからあなたは嫌われるー大阪大学は平成29年4月1日からキャンパス内全面禁煙となりますー(ポスター)

大阪大学経営企画オフィス

二頁だけの読書会 vol.6(チラシ)

大阪大学附属図書館

大阪大学図書館報 49巻2号

大阪大学大学院文学研究科・文学部

〈声なき声、いたるところにかかわりの声、そして私の声、芸術祭Ⅲ〉 クロージング・パンフレット、フィロカリア 第33号

大阪大学大学院文学研究科日本史研究室

思い出の待兼山 国史・日本史研究室の50年、黒田俊雄先生を偲ぶ会(プログラム)、研究余滴、国史研究室通信 藤先生追悼号 一期一会、史友会会報 第1～9・11～15・17～24・26～30号、堂土正明遺稿集、峯を仰ぎて 山本真吾遺稿・追想集

大阪大学大学院理学研究科・理学部

大阪大学大学院理学研究科・理学部PROFILE2016

大阪大学医学部附属病院

Handai Hospital 阪大病院ニュース 第62号、大阪大学医学部附属病院 要覧 2016

大阪大学大学院歯学研究科・歯学部

概要 2016 大阪大学大学院歯学研究科・歯学部・歯学部附属病院・歯学部附属歯科技工士学校

大阪大学大学院工学研究科・工学部

大阪大学大学院工学研究科・工学部 2016(リーフレット)、大阪大学大学院工学研究科・工学部 要覧 2016、平成28年度 工学部授業時間割表(第1学期)、平成28年度(2016年度) 工学研究科履修案内(平成28年度入学者用)、平成28年度第1学期大学院博士前・後期課程授業時間割(裏面第2学期)

大阪大学大学院言語文化研究科

平成28年度 大阪大学大学院言語文化研究科公開講座「教員のための英語リフレッシュ講座」(パンフレット)

大阪大学大学院国際公共政策研究科

大阪大学グローバルリーダーズ・レクチャーシリーズ 2015年ノーベル平和賞 チュニジア国民対話カルテット「対話のパワー—市民社会とボトムアップの民主主義構築」(チラシ)、国際公共政策研究 第20巻第2号(通巻第38号)

大阪大学大学院情報科学研究科

大阪大学大学院情報科学研究科 年報 第11号

大阪大学大学院高等司法研究科

Handai Law Letter 第6号、大阪大学大学院高等司法研究科 法科大学院 2016～2017(パンフレット)、大阪大学大学院高等司法研究科ニュースレター No.17

大阪大学蛋白質研究所

大阪大学蛋白質研究所レポート平成26～27年度

大阪大学社会経済研究所

ISER 2016(パンフレット)、大阪大学社会経済研究所 第13回行動経済学研究センターシンポジウム スポーツの経済学(チラシ)、大阪大学社会経済研究所活動報告 2015

大阪大学接合科学研究所

TRANSACTIONS OF JWRI Vol.44No.2 2015、大阪大学接合科学研究所 要覧 2016、大阪大学接合科学研究所スマートプロセス研究センター 要覧 2016、阪大接合研ニュースレター No.37・38、平成22年～27年度連携プロジェクト 最終報告書、平成27年度連携プロジェクト 研究成果報告書、文部科学省 特異構造金属・無機融合高機能材料開発共同研究プロジェクト 平成27年度研究成果報告書

大阪大学低温センター

大阪大学低温センターだより No.164・165

大阪大学超高圧電子顕微鏡センター

大阪大学超高圧電子顕微鏡センター平成27年度年報

大阪大学環境安全研究管理センター

大阪大学環境安全研究管理センター誌「保全科学」第22号、環境安全ニュース No.56・57

大阪大学グローバルコラボレーションセンター

GLOCOLブックレット 18 大学とグローバル化 大阪大学GLOCOL9年間の経験から

大阪大学総合学術博物館

大阪大学総合学術博物館 第9回特別展 嗚呼黎明は近づけり…友よ我らぞ光よと(ポスター・チラシ)、大阪大学総合学術博物館2016年夏期特集展覧会 科学で楽しむ怪異考 妖怪古生物展(ポスター・チラシ)、記憶の劇場 大学博物館を活用する文化芸術ファシリテーター育成講座(パンフレット)、大学博物館を活用する文化芸術ファシリテーター育成講座 受講生募集 記憶の劇場(チラシ)

大阪大学数理・データ科学教育研究センター

大阪大学数理・データ科学教育研究センター 2016

大阪大学日本語日本文化教育センター

大阪大学日本語日本文化教育センター授業研究 第14号、日本語・日本文化 第43号

大阪大学サイバーメディアセンター

大阪大学サイバーメディアセンター要覧 2016、大阪大学サイバーメディアセンター年報 2015年度 No.16

大阪大学経済学部同窓会

待兼山 第32号

太田八重子

岡崎高等師範学校五十年誌、岡崎高等師範学校七十年誌

大西愛

1965年大阪大学卒業女子の会アンケート・集計

堀一成(大阪大学)

阪大生のためのアカデミック・ライティング入門

宮久保圭祐(大阪大学)

待兼山 青春の軌跡—旧制浪速高等学校創立70年記念誌—

菅真城(大阪大学)

生産と技術 Vol.68No.2・3

業務日誌(抄) (2016年3月～2016年8月)

2016年

- ・3月9日 法人文書等の管理に関する説明会を開催。
- ・3月15日 菅、全国大学史資料協議会西日本部会2015年度第5回幹事会（関西学院大学大阪梅田キャンパス）に出席。
- ・3月16日 総合学術博物館・宮久保圭祐准教授が特別展準備のため資料調査。
- ・3月31日 『大阪大学アーカイブズニュースレター』第7号を刊行。
- ・4月8日 埋蔵文化財調査室から学章・ロゴマークの変遷について照会。
- ・4月11日 全学共通教育先端教養科目「大阪大学の歴史」開講。菅、「概観」講義。
- ・4月15日 全学共通教育基礎セミナー「アーカイブズの世界に触れる」開講。
- ・4月18日 名誉教授インタビュー（岸本忠三名誉教授）の第4回ビデオ収録。
- ・4月19日 菅、全国大学史資料協議会西日本部会2016年度第1回幹事会（関西学院大学大阪梅田キャンパス）に出席。
- ・4月21日 石崎優子氏から資料受贈。
- ・4月23～24日 菅、東京出張。日本アーカイブズ学会2016年度大会（東京外国語大学）に出席。
- ・4月25日 菅、東京出張。第195回記録管理学会理事会（八雲クラブ）に出席。
- ・4月27日～7月9日 大阪大学総合学術博物館第9回特別展「嗚呼黎明は近づけり…友よ我らぞ光よと一よみがえる旧制高校 大高・浪高の記憶と記録」開催（アーカイブズ共催）。
- ・5月17日 熊本大学文書館から大阪大学アーカイブズ歴史資料等利用内規および歴史資料等の受入方法について照会。
- ・5月21日 菅、総合学術博物館ミュージアムレクチャーで「大阪大学会館から「発見」された旧制浪速高等学校奉安庫—大阪大学に残る戦争遺跡—」講演。
- ・5月24日 菅、全国大学史資料協議会西日本部会2016年度総会・第1回研究会（関西学院大学）に出席。
- ・5月27～28日 菅、東京出張。記録管理学会2016年研究大会（東京堂ホール）に出席し、「大学アーカイブズ考2題—私立大学・認証評価—」研究発表。

- ・6月9日 飯塚室長、菅、東京出張。「国際アーカイブズの日」記念講演会（コングレスクエア日本橋）に出席。
- ・6月10日 飯塚室長、菅、東京出張。全国公文書館長会議（コングレスクエア日本橋）に出席。
- ・6月14日 菅、京都出張。全国歴史資料保存利用機関近畿部会平成28年度総会・第133回例会（京都府立総合資料館）に出席。
- ・6月20日 菅、全学共通教育先端教養科目「大阪大学の歴史」で「旧制高等学校から阪大共通教育へ—大阪高等学校、浪速高等学校—」講義。
- ・6月22日 文学部日本学研究室・安岡健一特任講師（常勤）の授業で15名見学。
- ・6月27日 鬼澤理事と面談。菅、全学共通教育先端教養科目「大阪大学の歴史」で「戦争と大阪大学」講義。笠井純一氏から資料受贈。
- ・6月29日 適塾記念センターと故梅溪昇名誉教授資料の取り扱いについて協議。
- ・7月5日 神戸大学附属図書館大学文書史料室職員4名が視察。
- ・7月7日 広報課から東野田時代の工学部の建物図面について照会。東明彦外国語学部長から大阪外国語学校時代の外国人教師の手稿資料について照会。平成27年度移管特定歴史公文書等目録（平成25年度満了）を公開。
- ・7月12日 菅、奈良出張。全国大学史資料協議会西日本部会2016年度第2回研究会（元興寺文化財研究所）に出席。
- ・7月25日 菅、全学共通教育先端教養科目「大阪大学の歴史」で「歴史を学ぶ、歴史に学ぶ」講義。
- ・7月27日 大阪大学混声合唱団から資料受贈。
- ・7月28日 九州大学大学文書館から特定歴史公文書等の廃棄について照会。
- ・8月1日 菅、全学共通教育先端教養科目「大阪大学の歴史」で「補足と試験」担当。
- ・8月3日 東京大学文書館教員2名が視察。
- ・8月29日～ 平成27年度保存期間満了の移管文書搬入。
- ・8月31日 第7回アーカイブズ運営委員会を開催。

人の動き

○兼任教員の異動

・法人文書資料部門

田中 和夫	工学研究科教授	退任（平成28年8月31日）
藤本 慎司	工学研究科教授	就任（平成28年9月 1日）

・大学史資料部門

澤井 実	経済学研究科教授	退任（平成28年3月31日）
友部 謙一	経済学研究科教授	就任（平成28年4月 1日）

○運営委員会委員の異動

大藤 生気	総務企画部長	退任（平成28年3月31日）
下敷領 強	総務部長	就任（平成28年4月 1日）
田中 和夫	工学研究科教授	退任（平成28年8月31日）
藤本 慎司	工学研究科教授	就任（平成28年9月 1日）

大阪大学アーカイブズ構成員名簿

室 長	飯塚 一幸
	（文学研究科教授）
教 授	菅 真城

〈事務担当〉

大阪大学総務部総務課文書管理室

室 長	池本 忠雄
	（総務部総務課長）
室長補佐	平野 雅宏
主 任	阪田 久美子
事務補佐員	川口 由美子
	石崎 光穂



大阪大学アーカイブズニュースレター 第8号

発行日 2016年9月30日
編集発行 大阪大学アーカイブズ
〒562-8558
大阪府箕面市粟生間谷東8-1-1

Tel. (072) 730-5113
Fax. (072) 730-5114
E-mail office@archives.osaka-u.ac.jp
http://www.osaka-u.ac.jp/ja/academics/facilities/ed_support/archives_room